

## 不透明な未来を生きるということ、未来を創るということ

休校が延長されました。今朝のニュースでは、14日の専門家会議の検討を踏まえて、全国一斉緊急事態宣言の緩和も視野に入れるとの報道もされています。一方で、他国や他県では第2波による感染拡大が見られ、新型コロナウイルスへの対応は、まだまだ先の見えない状況です。

そんな中、多くのテレビドラマが収録できず、特別編集や差し替えなどの対応を余儀なくされています。また、報道番組などでは、キャスターの交代制や遠隔通話システムを用いたコメンテーター、距離をとってのセット作りなどの工夫がされています。

NHKでは「今だから、新作ドラマ作ってみました」と題して、テレワークによるドラマ制作を行っています。昨日の「がちりマンデー」では、「儲かる炭水化物ビジネス」として、以前に取材した会社の総集編を発展させ、この状況の中でどのように事業を進めているのかという視点での番組作りをしていました。オフィスで冷凍パンを販売する会社では在宅勤務の拡大で売り上げが落ちているかと思われそうですが、定額で自宅に日本各地のパンが届けられるという新しいサービスや、オリジナルのパンを売りたいという人のための創業支援事業など、新しい発想で事業を進めているそうです。

さて、学校はどうでしょうか？先月末あたりから、9月入学制度についての議論が出ています。また、ICTを活用した在宅学習支援についても毎日のように取り上げられています。高志中等教育学校でも、Classiの利用や動画での指導などの取組がニュースで取り上げられましたが、今回の休校に際しては、新潟市教育委員会が、遠隔学習及び研修等におけるアプリケーションの使用について」としてZOOM使用についての通知が出されました。当校でも、在宅学習の質の向上に向けて先生方は日々創意工夫、奮闘努力しています。

一方で、ICT環境が整っている学校や家庭と、そうでない学校や家庭での格差についても話題になっています。国は、早急にGIGAスクール構想を進めるとしていますが、どんなに急いでも数年はかかりそうです。また、端末やWiFiという環境整備だけでは、効果的な指導ができるとは思えません。我が校の在宅教育支援はどうでしょうか？みなさんにとって価値ある指導や支援がなされているのでしょうか？

格差といえば、連休明けから休校が解除された地方自治体の学校と、休校措置が続く学校との格差も問題視されています。特に、大学受験や就職などを控えた高校3年生にとっては、今の時期の不透明さは不安でしかたないでしょう。一部の大阪の高校生が、9月入学制度にしてほしいという署名活動を行い、すでに2万人以上の署名が集まっているという報道もありました。まさに、これからの教育は、学校は、どうなっていくのでしょうか、人ごとではなく、高志中等教育学校は、そして、みなさんはどうすべきなのでしょう？

私は、世の中の様々な言説、議論の中で、できること、しなければいけないことは、立場によって大きく違ってくると思います。そして、注意しなくてはならないのは、異なった立場の人たちの議論や言説を安易に自分の考えに取り入れて、自分の行動に反映させてしま

うことです。

9月入学制度の是非について、教育格差の是正について、ICT環境の整備の緊急性など世の中の議論に耳を傾けることは社会を知る上で有用だと思います。しかしながら、いろいろな不備があるから、自分の学習がはかどらないと言い訳をすることは無意味です。今ある環境、状況の中で、最善を尽くすのがみなさんのやるべきことです。

行政の立場にある方や有識者が、学校の有用性を語り、格差是正を議論するのは必要です。しかし、みなさんがすべきことは、その議論ではなく、一日一日をどのように充実させるかということにつきます。学校は、かけがえのない学びの場であることは間違いありません。しかしながら、休校でも勉強はできます。あなたが、学ぶ目的や意義をしっかりともち、そのためにすべきこと、やり方を見いだすことが大切です。もちろん、はじめからうまくいくとは思いません。あれこれ試してみることです。やる内容、やり方、時間の取り方、勉強だけでなく、余暇の過ごし方や家族の一員としての役割も含め、どのように今を生きるか、よりよく生きよう、価値ある毎日を過ごそうという強い意志をもち、試行錯誤すること、そこから学ぶことが大切です。休校という状況は、普段より、そうした試行錯誤の時間が保障されていると考えることもできるのです。

問題や課題の配信、振り返りや質問の集約、解説や補充など、学校と違い不便さはありますが、質問することはできますし、わからないところを補充指導してもらうことも可能です。日々の振り返り、学習記録等の中で、先生方に質問やメッセージを送ることができるはずで、WEB上には、たくさんのおいしいコンテンツがあります。それらを活用することを学ぶことも生涯の学びの礎の一つになるでしょう。私も、このような状況になったからこそ、様々なWEBコンテンツを見直すチャンスをもらい、たくさん勉強させてもらいました。20年ほど前に、放送大学で学んだときのことを思い出し、自分のペースで、自分に必要なことを学ぶことのよさを改めて感じました。大手予備校の講義など、日頃は有料のコンテンツも無料で開放しているところもあります。文部科学省のホームページからはNHK関連の教育コンテンツが閲覧できます。情報の収集は十分にできます。それをどのように自分で集約し、思索し、自分の知識として蓄えていくか、様々な学習アプリなどを効果的に活用したり、自分に合ったノート作りをしたり、その方法は多様です。ぜひ、試行錯誤して自分に合った方法を見つけてください。

最後に、今、私が、校長として、取り組んでいることを3つお話します。

1つは、オンラインで大学や企業の有識者、NPOの方とみなさんとをつなげることはできないかとかいろいろな方とメールやZOOMで連絡を取り合ったり、話し合ったりしています。

2つめは、担当の先生方をお願いして、在宅学習支援の質を上げていくための工夫や研修を進めてもらっています。Classiという道具だけでなく、オリジナル動画やWEB授業などにも取り組んでもらっています。

最後は、当たり前ですが、先生方が出している課題やその反応をみながら、一緒に学ばせ

でもらっています。みなさんが提出している振り返りや、特に、総合・探究のポスターや発表動画を見せてもらっています。担当の先生方の許可をいただき、みなさんの提出したものにコメントをつけることも今後進めていきたいと思っています。

NHKの「今だから、新作ドラマ作ってみました」という取組ではないですが、今だからこそ、普段できなかつた新しい学びや関わり方を模索してみることが大切だと思います。新しい挑戦は、新しい学びを生み、新しい自分を創る礎となるのです。立ち止まっているときではありません。前へ、前へ。新しい自分の、未来の可能性を探ってください。